



雨漏りについて

突然の雨漏りに戸惑う方も多いと思います。

雨漏りの原因は軽度から重度のものまで様々あります。そして原因によって対策は変わります。また、雨漏りが進行すると、木部や金属部まで腐食が進み、カビやシロアリが発生する危険性もあります



雨漏りの原因は何か？

雨漏りは必ずしも屋根からだけとは限りません。発生箇所として主に**外壁**、**屋根**、**ベランダ**の3箇所があります。



<屋根からの雨漏り>

屋根本体の経年劣化です。他は瓦屋根のズレ、板金の浮きです。

瓦屋根の場合は長年の強風に晒されてきたことで起こる浮きが発生し、雨水を侵入させることです。

<外壁のヒビ割れ>

外壁の劣化が進むと外壁にヒビが発生し、そこから雨漏りが発生する場合があります。髪の毛のように細かいヒビ割れや小さい穴であれば、雨水が侵入する可能性は低いです。幅3ミリ以上のヒビになると外壁の向こう側まで貫通している場合があります。

<ベランダからの雨漏れ>

防水層の劣化は雨水にさらされたり、

物を置いたりしているとベランダの床に張られている防水シートや防水塗装が経年劣化します。

他は排水口の劣化・詰まりです。

排水口は水の通り道で、常に雨水や太陽にさらされているので負担が大きく、劣化しやすい箇所です。

排水口が劣化すると周りの防水層が剥がれて隙間が生じます。

その隙間から雨水が入り込み、建物内部に浸透していきます。



<窓サッシ>

窓サッシと外壁の間はシーリング材(コーキング材)で隙間を埋めていますが、このシーリング部分にひび割れや剥がれなどの劣化が起こると雨水が侵入してしまうことがあります。

<屋上>

屋上が紫外線などの影響を受けて経年劣化が起こりやすく、

ひび割れから雨水が侵入することがあります。

他にも、壁と防水層のつなぎ目や排水口の詰まりが雨漏りの原因になることもあります。

屋上部分は勾配がなく雨水が溜まりやすいので、定期的なメンテナンスが大切です。

(勘違い!)

①結露

気密性の高い住宅や排水が弱い住宅では、雨漏りではなく結露によって水が溜まる可能性があります。

②漏水

天井や壁に配管が通っている場合は、配管からの漏水によって雨漏りのようになることもあります。

③屋根掃除後の雨漏り

屋根を掃除した後に落ちてきた水を、雨漏りに見間違えることがたまにあります。その場合は、どのように掃除したかを見直してみましょう。

